



## 地域の教育力向上研修

令和3年5月20日（木）開催

# 発達障害のある人は、 どのような歩みをして大人になっていくのか

今年度も発達障害の専門家として国際的に有名な本田先生をお招きし、発達障害の特性や発達障害の人たちの考え方、感じ方や育ち方についてご講義いただきました。

本田先生からは「どんな人でも時間をかけて繰り返し量をこなせば、必ずできるようになる」という教育界に見られる「幻想」についてや、「コツコツ」よりも「一発勝負」、「前もって」よりも「ギリギリセーフ」といった「支援の目標」についてお話しがあり、ハッとさせられる場面も多く、学校や家庭でどのように接していけばよいのかを考えるよい機会となりました。

また、講座の様子をYouTubeでライブ配信及びオンデマンド配信したことで、最終的に1,000以上の視聴回数が見られました。理解を深めようと本田先生のお話を何度も繰り返し視聴して、学校や福祉施設、家庭などの現場で活かそうとされています。 受講者：334名

### <研修内容>

【講義】「発達障害のある人は、どのような歩みをして大人になっていくのか  
～様々なライフステージにわたる支援を考える～」

講師 信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室

教授 本田 秀夫 氏



### <受講者アンケートから>

- 障害を持つ子どもたちへの支援だけでなく、定型発達の子どもの教育、社会の仕組みとしても大いに考えさせられる内容だった。（諸団体）
- 本田先生の講義、お話を聞くのは初めてでしたが、論理立てて説明して下さるところや統計などのデータに基づいてわかりやすくお話していただいた。こうしてあげたら、こうなったらという、支援者側のエゴが大いにあったなということを感じた。（諸団体）
- 本人の心の健康をまず考えること、本人の気持ちを汲んで提案することなど、大切なことを改めて確認させていただきました。（公民館）
- 少人数の人に視点を当てた温かい眼差しや言葉が社会に広まれば、多数派少数派関係なく皆が楽で優しい社会になると思いました。（一般）
- 私事ですが、以前から生きづらいつ感じ続けていて（特に職場）、自分の思考や行動の傾向に原因があると思い、心理学を学んだりしてきました。本講座を知り、半ば興味本位で受講したのですが、発達障害でないかと思われる点が多々あり、先生のお話がストーンと腑に落ちました。医師の診断を受けてみようと思いません。（一般）